

JIS

幾何偏差の定義及び表示

JIS B 0621 -1984

(2005 確認)

昭和59年2月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

機械要素部会 幾何学的公差専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	青木保雄	千葉工業大学
	大園成夫	東京大学
	佐藤豪	慶応義塾大学
	福永太郎	東京都立工科短期大学
	吉本勇	東京工業大学精密工学研究所
	加藤敬	工業技術院計量研究所
	小柳武昭	工業技術院標準部
	野上昭三	株式会社アマダ
	杉浦守彦	石川島播磨重工業株式会社
	中込常雄	社団法人自動車技術会
	前田祥彦	キャタピラー三菱株式会社
	佐々木茂夫	東京芝浦電気株式会社生産技術研究所
	矢島宣明	株式会社東京精密八王子工場
	桑田浩志	トヨタ自動車株式会社
	江守忠哉	財団法人日本規格協会
	西村伸二	財団法人日本規格協会
	津川浩造	日本精工株式会社製品技術研究所
	山崎隆	株式会社日立製作所土浦工場
	広瀬藤司	株式会社三豊製作所
	浜野徹	三菱重工業株式会社相模原工場
	松本美韶	NTN 東洋ベアリング株式会社
(専門委員)	沢辺雅二	株式会社三豊製作所
(事務局)	中谷節男	工業技術院標準部機械規格課
	根岸喜代春	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 47.2.1 改正：昭和 59.2.1 確認：平成 11.2.20
官報公示：平成 11.2.22

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 小玉 正雄)

審議専門委員会：幾何学的公差専門委員会 (委員長 青木 保雄)

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

幾何偏差の定義及び表示

B 0621-1984

(1999 確認)

Definitions and Designations of Geometrical Deviations

1. 適用範囲 この規格は、対象物の形状偏差、姿勢偏差、位置偏差及び振れ(以下、これらを総称して幾何偏差という。)の定義及び表示について規定する。

備考 幾何偏差の許容値である幾何公差の記号による表示及びそれらの図示方法については、JIS B 0021(幾何公差の図示方法)による。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、次による。

- (1) 形体 幾何偏差の対象となる点、線、軸線、面又は中心面。
- (2) 単独形体 データムに関連なく、幾何偏差が決められる形体。
- (3) 関連形体 データムに関連して、幾何偏差が決められる形体。
- (4) データム 形体の姿勢偏差、位置偏差、振れなどを決めるために設定した理論的に正確な幾何学的基準。例えば、幾何学的基準が点、直線、軸直線⁽¹⁾、平面及び中心平面の場合には、それぞれデータム点、データム直線、データム軸直線、データム平面及びデータム中心平面という。

注⁽¹⁾ 軸直線とは、形状偏差がない軸線、すなわち、幾何学的に正しい直線である軸線をいう。

備考 データムに関する詳細は、JIS B 0022(幾何公差のためのデータム)による。

- (5) 直線形体 機能上直線であるように指定した形体。例えば、平面形体をそれに垂直な平面で切断したときに切り口に現れる断面輪郭線、軸線、円筒の母線、ナイフエッジの先端など。
- (6) 軸線 直線形体のうち、円筒又は直方体であるように指定した対象物の各横断面における断面輪郭線の中心⁽²⁾を結ぶ線。

注⁽²⁾ 断面輪郭線の中心とは、円筒であるように指定した対象物では、その断面輪郭線に外接する最小の幾何学的に正しい円(軸の場合)又は内接する最大の幾何学的に正しい円(穴の場合)の中心をいう。

また、直方体であるように指定した対象物では、その断面輪郭線に外接する最小の幾何学的に正しい長方形(軸の場合)又は内接する最大の幾何学的に正しい長方形(穴の場合)の中心をいう。

- (7) 平面形体 機能上平面であるように指定した形体。
- (8) 中心面 平面形体のうち、互いに面対称であるべき二つの面上の対応する二つの点を結ぶ直線の中点を含む面。
- (9) 円形体 機能上円であるように指定した形体。例えば、平面図形としての円や回転面の円形断面。
- (10) 円筒形体 機能上円筒面であるように指定した形体。
- (11) 線の輪郭 機能上定められた形状をもつように指定した表面の要素としての外形線。
- (12) 面の輪郭 機能上定められた形状をもつように指定した表面。

3. 幾何偏差の種類 幾何偏差の種類は、表による。

引用規格：JIS B 0021 幾何公差の図示方法

JIS B 0022 幾何公差のためのデータム